TOUEIドットニュース　Vol.121（毎月20日発行）

TO.NEWS

life with sTone
～ 石の温もりを、暮らしの中に ～

みなさんこんにちは。梅雨明けと同時に酷暑が続く状況の中での作業は、体力的・精神的にも大きな負担を伴います。そのような環境だからこそ「安全を守ること」が何よりも重要です。現場の安全性向上や作業負担の軽減につながり、安心して業務に取り組める環境づくりのサポートができるよう、今月も「TO.NEWS」を発信していきます。

保護具の着用義務化と適切なマスクの選定について

ご存じのとおり、労働安全衛生法の改正により、2024年4月から化学物質を取り扱う一定の作業環境では、従来の「努力義務」から「保護具の適切な着用・管理」が義務化されました。詳細リーフレットはこちら（右下のQRコード）

石材関連事業に携わる私達にとっても、この改正は決して看過できるものではありません。特に現場での粉じん対策に関するお問い合わせが増えているほか、「保護剤や塗料の塗布時にはどのようなマスクを使用すべきか」「シンナーやアセトンを使用する際は使い捨てマスクでよいのか」といったご相談も数多く寄せられています。

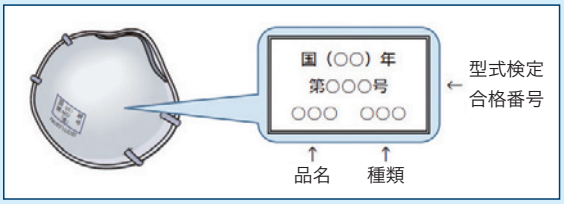
今回は、作業内容に応じたマスクの選定について、基本的なポイントをご紹介します。

まず、マスクを選ぶ際に最も重要なのは、「何から身体を守りたいのか」を明確にすることです。体内への混入を防ぎたい物質によって、使用すべき保護具は異なります。マスクは大きく分けると、粉じんなどの粒子を防ぐ「**防じんマスク**」と、有機溶剤や有毒ガスなどを防ぐ「**防毒マスク**」の2種類に分類されます。

適切な呼吸保護具を選定しましょう。

- SDSを確認し、危険有害性を確認しましょう。
- 物質の種類や濃度に適したものを使用しましょう。
  - ガス、蒸気状物質➡防毒マスク
  - 粒子状物質➡防じんマスク、電動ファン付き呼吸用保護具

国家検定合格証が付いているものを使用しましょう。



防じんマスクについて

防じんマスクには、「使い捨て式」と「取替え式（フィルター交換式）」があります。作業で発生する粉じんの粒径や濃度に応じて適切な性能のものを選定する必要があります。

石材加工では、けい酸を含む粉じんが発生することから、粉じん作業に使用するマスクは国家検定合格品で捕集効率区分RL2・RS2（区分2）以上の使用が推奨されます。

また、「屋外作業だから安心」と考えられがちですが、微細な粉じんは屋外であっても作業者本人だけでなく周囲の作業者が吸入する可能性があります。屋内・屋外を問わず、適切な防じん対策を講じることが重要です。

実際に行政指導が入ったケースとして、石材加工や切断作業等において通気・換気設備を設けていなかったり、局所排気装置を作動させずに作業を行わせたりしたほか、防じんマスクの着用指導も怠っていた事例が報告されています。これらは粉じん障害防止規則違反として是正勧告や書類送検の対象となります。「これまでは大丈夫だったから」という思い込みや慣習に頼るのではなく、ルールに基づいた設備運用と保護具の着用徹底が必要です。


防じんマスク
（使い捨て式）


防じんマスク
（取替式）

防毒マスクについて

一方、保護剤や塗料の塗布、シンナーやアセトンなどの有機溶剤を使用する作業では、防じんマスクでは十分な保護効果は得られません。このような揮発性物質を取り扱う場合は、防毒マスクを使用し、作業内容に適した吸収缶を装着する必要があります。一般的な使い捨てマスクでは有機ガスを除去することはできません。

吸収缶は、使用する化学物質の種類や濃度、作業時間、作業環境などを考慮し、厚生労働省が示す要求保護係数に基づいて適切なものを選定することが重要です。特に屋内で有機溶剤を使用する場合は、局所排気装置や十分な換気を併用し、安全な作業環境を確保してください。有機溶剤に関する厚生労働省の資料はこちら（右のQRコード）


防毒マスク
（半面型）


防毒マスク
（全面型）

保護具着用管理責任者の役割

なお、保護具の選定や適正な使用方法については、2024年の制度改正により選任が義務化された「保護具着用管理責任者」の管理・指導のもとで行うことが求められます。

各事業所におかれましては、保護具着用管理責任者を適切に選任するとともに、作業内容に応じた保護具の選定・教育・点検を継続的に実施し、作業者の健康障害防止に努めていただきますようお願いいたします。詳しくは右のQRコードからアクセスしてください。

保護具は顔にあったサイズを使用してください。

（参考）フィットチェックの方法

- **フィットチェック（陰圧法）**
  マスクの吸気口を手でおおって、ゆっくり息を吸い込んだ時に、面体が吸いよせられない場合には、面体の位置やしめひもの強さを調整しなおしましょう。
- **フィットチェック（陽圧法）**
  マスクの吸気口を手でおおって、息を吐いたときに、面体からの漏れがなく、マスクが膨張するかどうかを確認しましょう。



天然石のピンホール・微細なひび割れへの対策

天然石のスラブ材をご覧になった際、目に見えないほど小さな穴（ピンホール）や微細なひび割れが気になったことはありませんか。特に大理石やトラバーチンでは、このような状態が見られることが少なくありません。これらは天然石が長い年月をかけて形成された証でもあり、天然素材ならではの特性の一つです。しかし、そのままでは見栄えだけでなく、汚れの浸透や欠け・割れの起点となる可能性もあります。









このような場合には、超低粘度樹脂をスラブ材全面へ塗布し、ピンホールや微細なひび割れの奥深くまで浸透・充填させる方法が有効です。樹脂が内部で硬化することで石材を補強し、耐久性の向上にもつながります。硬化後は表面に残った余分な樹脂を研磨して除去するため、天然石本来の風合いや意匠を損なうことなく、美観を維持したまま補修・補強を行うことができます。

天然石の価値を長く維持するためにも、加工前や仕上げ工程でこうした処理を取り入れることは、品質向上と製品寿命の延長につながる有効なメンテナンス方法の一つです。

こうした補修・補強ニーズに応え、世界中で石材用薬品を展開するAKEMI社では、エポキシ成分の粘性が非常に低い製品を取り揃えています。特におすすめなのが、多孔質の石材やコンクリートにも使用できる「**AKEPOX 1005**」と、流動性が高く目に見えない微細なキズにもしっかり浸透する「**AKEPOX 1016**」です。お困りの方はぜひお問い合わせください。



AKEPOX 1005



AKEPOX 1016

新商品 充電式コンパクトウォッシャー



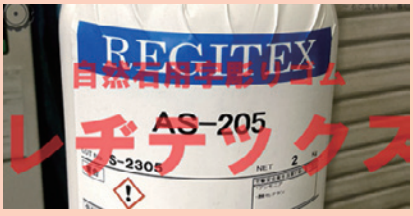
電源はおろか水道などの水源も不要な高圧洗浄機「**充電式コンパクトウォッシャー**」。コンパクトなサイズ感でありながら、連続使用は最大60分（フル充電時）の優れものです。ペットボトルを水源代わりに使用できるため、場所を選ばずどこでも洗浄が可能。簡易洗浄に最適な**充電式コンパクトウォッシャー**がおすすめです。





VIDEO information

自然石への字彫りhow-to



作業動画は
こちらから

スコップをもっと楽に使用しませんか？



作業動画は
こちらから

藤栄株式会社

大阪本社　〒578-0944　大阪府東大阪市若江西新町4-5-25
東部営業所　〒327-0817　栃木県佐野市伊勢山町14-10
ウェブサイト　https://touei.ne.jp
フェイスブック　https://www.facebook.com/touei.kenzai/

商品についてのお問い合わせ・ご注文等は、お近くの石材工具販売店様までお問い合わせください。

TOUEIドットニュースは、メールでいち早く配信しております。配信をご希望の場合は、web@touei.ne.jp へ、メールの本文欄に会社名・お名前をご入力の上、送信ください。（右側のQRコードで、上記のメールが開きます）